

# 「東京オリンピック2020女子水球に出場して」

株式会社ブルボン 小出 未来（平成23年3月体育科卒）



東京オリンピック2020での勇姿

女子水球日本代表は他国のチームより小柄であり、体の大きさが常に有利な状況を生む水球というスポーツの中で、その差を埋めるべく日本独自のスピードを活かした戦略を立て、海外の強豪たちと戦ってきました。そんな中、私の専門ポジションはセンターフローターと呼ばれ、バスケットで言うポストのようなポジションで、海外選手に比べると小柄な日本人選手の中で、唯一激しいボディコンタクトを行うポジションになっています。

試合の結果としては目標としていた打倒中国もかなわず、一回戦敗退という結果に終わってしまいましたが、個人として初出場・初得点の名誉は、今まで継続して水球に打ち込んでくることができた結果と、支えて下さった皆様のおかげだと思っています。

オリンピックは、幼少期に自分が「オリンピック」という言葉の重みを知らない頃に掲げた夢の舞台でした。その夢の舞台に立ち、今私が思いかえすことは、八千代高校時代の恩師、岩瀬先生の言葉である「やめるのは簡単。でも、続けることに大きな意味がある」でした。

その言葉は深く私の中に根付いていて、自分が何かに取り組む時の姿勢として、常に私の支えとなってきました。それは水球女子日本代表として、オリンピックに29歳で初出場という結果にも大きな影響を与えて下さいました。また、八千代高校で得た経験や知識は、卒業してからも選手生活を送る私の力となり、ここまで来ることができました。八千代高校を卒業できたことは、私にとってかけがえのない経験だったと言えます。

今後、私はイタリアでチームと契約を結び、6ヶ月間の海外リーグへの挑戦を予定しています。海外は選手層も厚く、毎週リーグの試合が行われるため、経験を多く積むことができます。契約チームの戦績はもちろん、今後は自分が海外で評価を受けることで日本人選手への認識を高め、より多くの日本人選手が海外チームと契約を結び経験を積めるような環境を作っていきたいと思っています。29歳という年齢になり、後をゆく若い世代の選手たちにより良い環境を残していくことも、今後の私の課題となってくると感じています。

最後に、現役八千代高校のみなさんへ。八千代高校での生活はいかがですか？私は八千代高校で学び経験した全てのことが、今の自分を作っていると断言できるほど八千代高校での勉強は実用性の多いものだったと感じています。文武両道、それは一見相反するものを同様に鍛えていこうと唱えているようですが、全ての物事は1人の人間の豊かさを作ることに繋がっていると、私は感じています。一人一人の目標を達成するために文武両道を掲げ、日々精進し、誇りを持って人生を謳歌していただきたいと思っています。そんなみなさんの道行を心から応援します。

## 略歴

- 2011年 八千代高校卒業
- 2015年 新潟産業大学卒業  
株式会社ブルボン 入社
- 2015年～2016年 イタリアセリエA Cosenza nuoto 所属 最終順位6位
- 2016年 日本選手権水泳競技大会 水球競技 第3位
- 2016年～2017年 イタリアセリエA Pescara pallanuoto 所属 最終順位9位
- 2017年 ワールドリーグ アジアオセアニアラウンド・アメリカ  
日本代表 4位
- 2019年 世界水泳選手権2019水球 日本代表 13位
- 2021年 東京2020夏季オリンピック出場 9位

